



第27回 宮城県 クラブユースU-15新人大会

新鋭チームの躍進が
新たな景色を見せるか

ここ近年、加盟チーム数が増加傾向にある宮城県の中学年代クラブチーム戦線。令和の躍進を狙う21チームが2020年を占う新人大会に出場した。東北リーグに参加する5チームが「みちのくリーグラウンド」に入り総当たりのリーグ戦を行い1位から5位を決し、県リーグ所属チームは予選リーグを経て6位決定トーナメントと14位決定トーナメントに分かれる形で熱戦が繰り広げられた。

「みちのくラウンド」は、昨季の東北トップリーグで3位と健闘したベガルタ仙台が全勝で優勝を達成。昨年王者のFCみやぎは昨季トップリーグ所属の塩釜とフレスカに競り勝ちつ形で2位と存在感を見せた。

「県リーグラウンド」は、近年の躍進が著しいAOBAが来季東北リーグに昇格する仙台FCを決勝で破りトーナメントを制覇。結成1年目のフォーリクラッセが早くも頭角を現すなど、白熱の展開を見せた。今季はみちのくリーグ南に宮城県から6チームが参戦するなど、さらなる接戦が予想される2020年。各チームのさらなる躍進に期待したい。

優勝チーム紹介

第27回 宮城県クラブユースU-15 新人大会

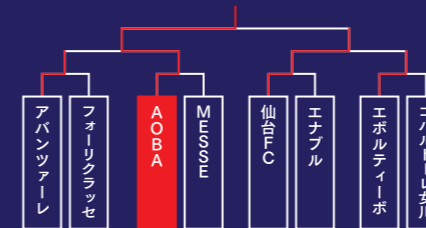
ベガルタ仙台

戦績
 ○6-1 FCみやぎ ○4-1 FCフレスカ
 ○4-1 ACアズーリ ○3-1 塩釜FC

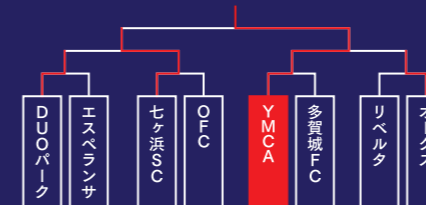
ジュニア出身選手と少年団出身選手が融合。
豊富なタレントが個の力を発揮し2年ぶり制覇。

昨季大会では2位となり、Jクラブユースチームとしての意地を見せるべく雪辱を誓った今大会。ベガルタ仙台JYは圧巻の4戦全勝で2020年シーズンのスタートに向けて幸先の良いスタートを切った。ジュニアからの昇格選手と各少年団でエースとして活躍したタレントの融合が進み、CBに入るDF貝瀬を軸とした抜群の安定感を誇る守備陣がチームの骨格を固め、左サイドからは精度と威力を兼ね備えたキックでオーバーラップを仕掛けるDF佐々木、切れ味鋭い飛び出して決定的な形を作るFW吉本のレフティーコンビが多くゴールシーンを作るなど、個の強さが光る選手たちの能力が一つのチームとしての融合が進んでいる。今季は宮城県から唯一のみちのくトップリーグ参戦チームとなり、悲願の初優勝へ向けて掛かる期待は大きい。

6位決定トーナメント



14位決定トーナメント



宮城県クラブユースサッカー連盟(U-15) 新人大会 1位決定リーグ 2019.12.1-15

	ベガルタ仙台	FCみやぎ	FC FRESKA	A.C AZZURRI	塩釜FC	勝ち点	得失	順位
ベガルタ仙台	-	○ 6-1	○ 4-1	○ 4-1	○ 3-1	12	13	1
FCみやぎ	● 1-6	-	○ 1-0	△ 2-2	○ 2-0	7	-2	2
FC FRESKA	● 1-4	○ 0-1	-	△ 1-1	○ 1-0	4	-3	3
A.C AZZURRI	● 1-4	△ 2-2	△ 1-1	-	● 0-3	2	-6	5
塩釜FC	● 1-3	● 0-2	● 0-1	○ 3-0	-	3	-2	4

KEY PLAYERS



貝瀬唯 (DF/3年)
CBとして抜群の統率力を見せ、個々の能力が高い選手たちを纏めるチームの要。



佐々木奨馬 (DF/3年)
鋭いオーバーラップから精度の高い左足クロスで好機を演出。多賀城FC出身。



吉本龍馬 (FW/3年)
破壊力抜群の左足キックを武器に多彩な攻撃センスを持つ。コバルトレレJr出身。

